

共生

～やまぐち自然派宣言～

No.

24

令和7年3月発行



一の坂川と夜桜

- ❖ 寄稿「ネット社会と野鳥保護活動の実情」
- ❖ 令和5・6年度 表彰受賞者紹介
- ❖ 第19回リレーミーティング in 山口
- ❖ みんなの思い出写真館
- ❖ お知らせ

◇寄稿「ネット社会と野鳥保護活動の実情」◇



ブッポウソウの様子

「ネット社会と野鳥保護活動の実情」

ブッポウソウを見守る会 立野 昌宏 氏

「ブッポウソウ」という鳥をご存知でしょうか？ 昔は「仏法僧」と鳴くと信じられ（実際にはコノハズクの鳴き声）霊鳥として大切にされてきたのですが、現在では絶滅危惧種に指定されています。

私達は、山口県東部の中山間地でこの鳥の保護活動をしています。保護活動といっても大袈裟なものではなく、配電事業者様に取り付けて頂いた巣箱を利用するブッポウソウが、ヒナを巣立させるまでを見守るのが主な活動です。その関係で会員になっている方の大半は巣箱を設置している土地の地権者さんで、楽しみながら見守りをして下さっています。



巣箱設置作業（周南市立八代小）



保護活動について地域の方に説明（周南市立須磨小）

ところが近年、繁殖期に巣箱の周辺に集まって撮影を行いインターネットで情報を拡散する人達が増えてきました。この影響で、元々警戒心の強いブッポウソウが逃げ出してしまう、一時は巣箱の利用数がピーク時の半分にまで減少しました。

また、それ以上に深刻な問題となったのは、撮影による地域の方々へ様々な迷惑行為が横行した事です。

農地や家の敷地への無断侵入、路上での撮影や迷惑駐車などは当たり前で、時には電気柵や屋外トイレが壊されたこともあります。

注意をすると彼等は「何の権利があって俺の撮影を邪魔するのか、自分達の撮影は保護活動で、地域の観光にも協力してやっているのだ。」という趣旨の主張をします。けれども、保護対象が逃げ出す様な保護活動などあり得ませんし、地元から地域の観光に協力して欲しいなどと言う話が出た事実ありません。

彼等の行動を見ていると、社会問題になっている「撮り鉄」のケースと非常に類似点が多い事に気付かされます。どちらも趣味活動への過度な没頭と他人の注目を集めることが自身の「存在証明」になっているので、趣味を妨げられることに強い抵抗感を持っています。そして、集団になることで更に周囲への配慮を忘れた非常識な行動を繰り返すという点まで同じです。この様な「歪んだ権利意識と行動」は彼等だけでなく現代のネット社会が生み出した風潮なのかもしれません。

「共生」No23 で、中村裕三先生が「徳は孤ならず、必ず隣有り」と仰っておられました。私達の保護活動も地権者様や配電事業者様は勿論、地域の方々からの様々なご支援や、ご協力で成り立っています。写真だけ撮りに来てそれで喜んでいただけるとは何も出来ません。

そうした周囲の方々のお陰で、減少の一途を辿っていたブッポウソウも昨年から回復に向かい始めました。勿論それで迷惑行為が無くなったわけではありませんし、保護のあり方についてはまだまだ考えていかなければならない課題がたくさんあります。それでも私達は、山口県という同じ故郷、同じ時代を生きている者同士として今後も活動が続けていくつもりです。

令和5・6年度 表彰受賞者紹介

令和5年度環境保全活動功労者等知事表彰

環境の保全のための啓発又は実践活動を積極的に実施し、顕著な功績があったと認められる個人又は団体に対し、その功績をたたえるため知事が表彰するもの。

山口県自然観察指導員協議会 植田 高弘 氏

【功績概要】

自然観察指導員として、関係機関と協力しながら、下関市蓋井島のヒゼンマユミ自生地（県指定天然記念物）保全活動の中心となって取り組むとともに、自然観察会を企画するなど、自然環境保全にかかる普及啓発にも尽力している。



自然観察指導員協議会の皆さん

【受賞コメント】

このたびは、令和5年度環境保全活動功労者等知事表彰をいただき、感謝申し上げます。

私は平成20年から下関市蓋井島において県指定天然記念物のヒゼンマユミ自生地の保全活動を山口県自然観察指導員協議会の先輩会員の皆さんと続けてきました。

活動にあたっては、自生地までの道の整備や高低差のある斜面での竹伐り等に苦勞しました。しかし、ヒゼンマユミに関心のある多くの方が県内各地から竹刈り作業に協力していただき、少しずつではありますが、自生地周辺の環境が整ってきました。皆様方のご協力に際しまして厚くお礼申し上げます。この賞は、指導員協議会が受賞したものと考えています。本当にありがとうございました。

今後につきましては、コロナ禍明けの（約4～5年間のブランクがあります）作業となりますので、道の再整備や竹伐り作業を地道に継続しながら自生地周辺の植生調査等も会員仲間の皆さんと進めて行きたいと考えています。



蓋井島 竹刈り作業



自生地周辺の植生調査



令和6年度会長表彰式にて

令和6年度やまぐち自然共生ネットワーク会長表彰

自然環境保全活動に関し顕著な功績があった個人又は団体に対しその功績を称え、やまぐち自然共生ネットワーク会長が表彰するもの。

大殿ホタルを守る会 岡田 勝栄 氏

【功績概要】

大殿ホタルを守る会の事務局長として、長年にわたりホタルの生息地である一の坂川周辺の環境保護に努めるとともに、山口ふるさと伝承総合センターにおけるホタルの人工飼育に尽力。

【受賞コメント】

令和6年度「やまぐち自然共生ネットワーク」会長表彰を頂き感謝申し上げます。

国の天然記念物に指定された蛍の名所は全国に11カ所。「山口ゲンジボタル発生地」は愛知県の「岡崎ゲンジボタル発生地」と共に昭和10年12月24日に指定され、全国で一番歴史の長い指定地となっています。より古い指定地もあったのですが、ホタル減少で指定解除となり、生き残った山口と岡崎が、日々、最長記録を更新中です。

山口県が工夫した「全国初のホタル護岸」と私たち「大殿ホタルを守る会」の活動などが、それを支えています。

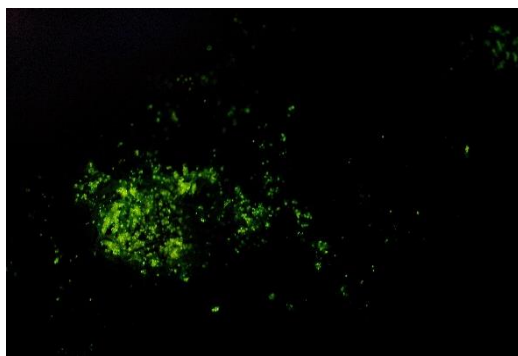
当会では、山口市教育委員会の許可を得て百匹弱の雌ボタルを捕獲し、卵を産ませ、孵化した幼虫にエサとなるカワニナを与え、秋10月、大小の幼虫約一万三千匹（翌年、2年後、3年後に乱舞するものが混在）を毎年「一の坂川」に放流しています。河川敷の草刈りや清掃は、ホタルへの影響を考慮して時期を選びます。お陰で県都の市街地で見事な蛍の乱舞を愛でることができます。活動は小学校の授業にも組み込まれ、六百余名の大殿小学校児童を中心に、PTA、川沿いの町内会、大殿春秋会、大殿地域交流センター、山口ふるさと伝承総合センター、大殿地区連合町内会、おおどのコミュニティ協議会、ほたる広場の会など約千人が毎年、地道に活動を続け、令和6年は38回目の幼虫放流となりました。ほたる祭りの夜の人出は毎年、一晩で四万人余（山口市観光交流課調べ）。地域住民が蛍に寄せる昔からの深い思いを感じ取ることができる数字だと思います。

室町時代の殿様・大内政弘公が詠み遺した「澗底蛍」と題された和歌があります。真っ暗な谷底の水辺で光る蛍の卵のかすかな発光や、万余の孵化幼虫が真っ暗な谷川の水底で光る光景を詠んだ歌で、これが引き金となり、蛍の余光に照らされて埋もれていた歴史の光景が部分的ながら蘇りつつあります。これを記念して「ゲンジボタル保護飼育場」（旧・野村酒場土蔵＝雨戸を閉めると真っ暗な空間となる）に「幻の大内文化「澗底蛍」復活の地」というささやかな看板も掲げることができました。ニューコロナ騒動で自粛していた「ゲンジボタル卵の発光を見る会」や「ゲンジボタル幼虫の水中発光を見る会」を次期シーズンには再開できるのではないかと期待しています。

地域と蛍との共生が、より深く、より豊かに、どこまでも続いてくれることを願っています。



1年生カワニナ採り



ゲンジボタル卵のかすかな発光



「澗底蛍復活の地」看板



「錦川流域一斉清掃」参加者の皆さん

令和6年度

「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰

自然環境の保全に関して顕著な功績があった個人又は団体に対し、その功績をたたえるため、環境大臣が表彰するもの。

錦川流域ネット交流会 白井 啓二 氏

【功績概要】

平成12年から河川清掃に取り組み、平成14年には、日本一きれいな清流・錦川を保全するため、錦川流域の環境保全団体等で構成する「錦川流域ネット交流会」を設立し、定期的に、錦川流域のパトロール及び一斉清掃を実施するなどの活動に尽力。

【受賞コメント】

令和6年5月、自然環境功労者として環境大臣表彰をいただき感謝申し上げます。

「錦川を日本一の清流に」を合言葉に、毎年7月中旬の日曜日を「錦川一斉清掃の日」とし、流域住民を中心に開催されており、河川および流域の清掃・河川環境活動を行っています。古くから錦川流域の各地で定期的に河川清掃を行っていましたが、平成12年から「錦川流域一斉清掃」が始まりました。その後、錦川流域の自然・文化の保全活動団体や、その趣旨に賛同する企業、団体、46団体が集まり錦川流域ネット交流会が発足しました。今では「錦川流域一斉清掃」に4000人の市民が参加するようになりました。流域の各地区でも定期的に河川清掃が行われています。まちづくりの西の横綱と言われた、宮崎県綾町の元町長の郷田実さんが「錦川はまちがいなく日本一だ」と明言してくれたのも、流域の錦川を愛する人たちが汗を流し守っているからだと思います。

これからも「日本一の清流錦川」を守り続け、後世に伝えて行きます。

なせば成る なさねば成らぬ 何事も ならぬは人の なさぬなりけり 「自然は永久に錦川」



錦川清掃活動の様子



子どもたちの川遊び体験の様子



寂地山でのカタクリ観察会

令和6年度

地域環境保全功労者環境大臣表彰

地域環境保全及び地域環境美化に関し顕著な功績のあった個人や団体に対し、その功績をたたえるため環境大臣が表彰するもの。

山口県自然観察指導員協議会 大田 和彦 氏

【功績概要】

山口県自然観察指導員協議会会長として、自然環境学習や里山保全等の自然保護活動を行うとともに、希少植物の保全活動にも尽力するなど、自然保護思想の普及啓発に貢献している。

【受賞コメント】

このたびは、令和6年度地域環境保全功労者環境大臣表彰をいただき有難うございました。感謝申し上げます。

私は、昭和61年山口県自然観察指導員協議会発足当時から自然保護活動に取り組んで参りました。

発足当時は、八代のナベヅル埤整備や小鳥の巣箱コンクール、笠戸島のクサフグ産卵調査等を行っていましたが、現在は、寂地山のカタクリ保全・観察会、小五郎山のヤマシャクヤク保全、錦町広瀬のセツブンソウ保全・観察会、周南市中須北で里地・里山調査等を行っています。

活動を始めてから40年近くになりますが、笹刈や倒木並べなどの登山道整備により寂地山のカタクリは数が増え、大きなお花畑となっています。また、広瀬のセツブンソウも発見当初から10倍近く数が増え大きなお花畑となり、公開日には多くの参加者で賑わっています。

このように保護・保全活動によって大きな成果が現れていますが、会員の高齢化により会員・活動の参加者共に減少するばかりで将来が心配です。来年度には自然観察指導員講習会を行い、会員数の増加を図るつもりですが、会員だけでなく一人でも多くの地元や一般の人にも活動に参加してほしいと思います。



広瀬のセツブンソウ



寂地山のカタクリ

第19回 リレーミーティング In 山口

春の一の坂川の様子

「ホテルと一の坂川」をテーマに山口市で開催

6月、第19回目リレーミーティング in 山口が開催されました。大殿ホテルを守る会様、一の坂川ほたる広場の会様、山口市観光ボランティアガイドの会様をはじめとする地元の方々のご協力のもと、活動発表や現地の散策を行いました。

リレーミーティングは、県内各地において平成16年度（本会設立年）から年に1度開催しています。会員だけでなく、地域で自然環境保全活動等に取り組む方々にもご参加いただき、情報交換や交流の輪を広げる貴重な場となっています。

【1日目】6/1(土)

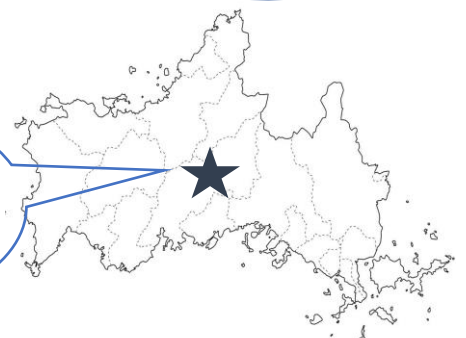
- 10:30 受付(山口市菜香亭)
- 11:30 令和6年度会長表彰式
(大殿ホテルを守る会 岡田勝栄様)
- 13:30 活動発表
 - ① 岡田 勝栄氏「ホテルの一生と保護活動」
 - ② 後藤 益滋氏「ホテルの遺伝子について」
 - ③ 水摩 嘉孝氏「一の坂ホテル護岸とその歴史」
 - ④ 中野 雅恵氏「私と一の坂川」
- 16:00 一の坂川散策(ホテル飼育場等見学)
- 18:00 交流会
- 20:00 一の坂川散策(ホテル鑑賞)

【2日目】6/2(日)

- 8:30 朝食
- 10:00 大殿地域散策(ガイド付)
- 12:00 現地解散

1日目はホテル祭りも開催！
多くの人で賑わいました。

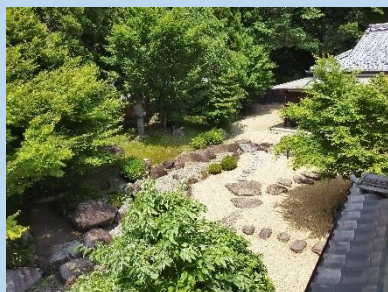
ニューヨーク・タイムズ紙の
「2024年に行くべき52カ
所」において、山口市が3番
目に選出され話題に。



1日目

① 表彰式・活動発表

久保田会長の開会挨拶後、令和6年度会長表彰式を開催。長年にわたるホタルの保護活動を讃え、大殿ホタルを守る会の岡田勝栄氏の表彰を行いました。午後からは、「ホタルと一の坂川」をテーマに4名の専門家にお越しいただき、活動発表が行われました。



山口市菜香亭



会長挨拶



活動発表の様子

② 散策・交流会

活動発表の後、一の坂川沿いの散策に出発！

岡田氏のガイドのもと、山口ふるさと伝承総合センター内のホタル飼育場を見学させていただきました。岡田氏の解説に、参加者の方も熱心に聞き入っていました。

夕方からは、皆さんお待ちかねの交流会がスタート！

日々の活動や近況等を語り合いながら、交流を深めます。

「久しぶりやね!」「活動は順調?」そんな声が聞こえてきたり…リレーミーティングは貴重な交流の場となっています。

1日目はホタル祭りも開催されており、交流会後に、再度一の坂川へ。ホタルが飛び交う様子を見ながらゆったりと散策を行い、1日目の日程は終了しました。



飼育場の解説



交流会の様子

2日目



① 散策

2日目は、「大殿地域周辺の名所と旧跡をめぐろう」と題し、山口市内の散策を行いました。

山口市観光ボランティアガイドの森さんによる案内のもと、大殿地域交流センターを出発し、十朋亭維新館、洞春寺、香山公園等を見学しました。

森さんの快活な解説のもと、歴史探訪的な雰囲気も相まって、少人数ながらも和気あいあいとした散策となりました。



十朋亭維新館



森さんの解説



藩庁門前



龍福寺



親水公園の河津桜(令和7年3月萩市)
たちさん撮影



みんなの
思い出写真館



黄色のカエル(令和5年10月光市)
HYさん撮影



アサギマダラ(令和6年周防大島町)
HOさん撮影



大寧寺の紅葉(令和6年11月長門市)
おさんぽ好きさん撮影



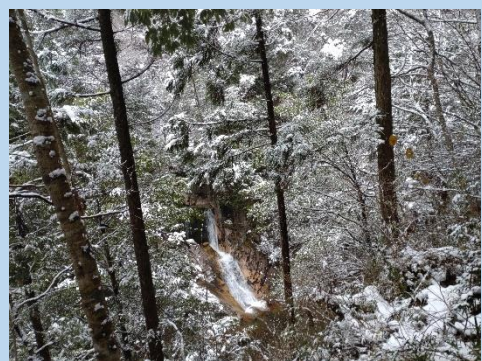
青海島(令和6年5月長門市)
HKさん撮影



龍福寺(令和6年6月山口市)
ネイチャーさん撮影



生き物観察会(令和6年10月光市虹ヶ浜)
KCさん撮影



寂地峡(令和6年12月岩国市)
OKさん撮影



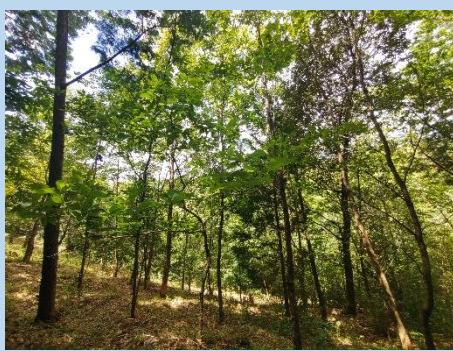
雨の探鳥会(令和6年5月山口市)
のんびり坊やさん撮影



厳島神社(令和6年7月周防大島町)
広報担当撮影



白壁の町並み(令和6年8月柳井市)
SSさん撮影



お山の学校(令和6年8月柳井市)
SSさん撮影



ホタルの卵(山口市)
岡田 勝栄さん撮影



木の下で打合せ(令和6年7月山口市)
YHさん撮影



山野草のエキ(令和5年10月周南市)
SNさん撮影



庭園(令和6年6月山口市)
YOさん撮影



霜降山の紅葉(令和6年11月宇部市)
広報担当撮影



新緑の秋吉台(令和6年5月美祢市)
かっきーさん撮影



虹ヶ浜海岸清掃(令和6年3月光市)
SNさん撮影

掲載写真を募集しています！

皆様が撮影された思い出の写真を、会報誌に掲載してみませんか？
撮影時期は問いません。

美しい自然の風景や生き物の写真など、とっておきの一枚をお送りください。写真のほか、自然に関する記事(寄稿文)も募集しています。

詳しくは、PIO「やまぐち自然共生ネットワークからのお知らせ」をご覧ください。



やまぐち 自然共生ネットワーク からのお知らせ



ホームページについて

やまぐち自然共生ネットワークのホームページでは、本会の情報のほか、会員の皆様
が主催するイベント情報等を発信しています。ぜひご覧ください。各種情報をホームペ
ージへ掲載希望の方は、広報担当（裏面連絡先）までお知らせください。

新規会員募集について

現在38団体、103名の会員の方が所属しておられます（令和7年3月末時点）。

自然環境保全や生物多様性など、自然に関する興味関心がある方は、どなたでも
大歓迎（随時募集中）です！一緒にネットワークの輪を拡大しましょう。

会報誌「共生」について

会員の皆様から、次のとおり募集します！

- ・自然に関する記事（寄稿文）※
- ・自然に関する写真 ※

「自然」をテーマに、皆様の活動紹介や、日常で発見したささやかな出来事など、何でも構いません。
ご協力いただける方は、広報担当（裏面の連絡先）宛て、お気軽にお送りください。

※自然に関する記事（寄稿文）については、「タイトル」「執筆者氏名」をご記入ください。

- ・参考文献がある場合は、著者名等をご記入ください。
- ・原稿に写真を添える場合は、写真データも併せてお送りください。

※自然に関する写真については、「タイトル」「撮影時期」「撮影場所」
「撮影者氏名（ニックネーム可）」をご記入ください。

- ・ご自身が撮影されたものに限りします。
- ・誌面の都合上、横向き撮影されたものをお送りください。
- ・被写体に人物が含まれる場合、肖像権侵害等が生じないように
応募者本人の責任においてご確認ください。

令和7年度の
第20回リレーミーティングは、
「柳井市」での初開催を予定！
本リレーミーティングも、ついに記念
すべき20回目を迎えます。
詳しくは、開催案内をご覧ください。
多数のご参加お待ちしております！

リレーミーティング開催候補地募集について

令和8年度以降のリレーミーティング開催候補地を募集します！

本会では、これまで県内各地でリレーミーティングを開催してきましたが、まだまだ開催したことのない地域がたくさん
あります。

「まだあまり知られていないけど、こんな自然に関する取組みをしている地域がある（人がいる）よ」

「ぜひ〇〇地域で開催してほしい！」「〇〇で取り組んでいる環境保全活動が気になる」などなど・・・

気になる情報やおすすめ、立候補などありましたら、ぜひ広報担当（裏面の連絡先）まで情報をお寄せください！

編集後記

今年度より、やまぐち自然共生ネットワーク広報担当となりました、石田と申します。

前任の中村さんよりバトンを引き継いで、この貴重なネットワークを繋いでまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

来年度は、リレーミーティングも節目の20回目を迎えます。今までの当ネットワークの
活動や足跡を振り返りながら、再出発（リスタート）の気持ちで取り組んでいきたいと思
っています。

この度執筆いただきました皆様、ご協力いただきました皆様には心よりお礼申し上げます。



やまぐち自然共生ネットワーク

～次世代につなごう美しいやまぐちの自然～

〔総務・企画担当〕 岡村（事務局長）

〔広報・会計担当〕 石田

広報関係 お問い合わせ先

〒753-8501

山口市滝町1番1号 山口県環境生活部自然保護課内

やまぐち自然共生ネットワーク広報担当

(TEL) 083-933-3060 (FAX) 083-933-3069

(E-mail) al5600@pref.yamaguchi.lg.jp

ホームページ <http://www.yama-kyou.net/>

E-mail アドレス info@yama-kyou.net